

2016年10月20日

千葉大学 大学院工学研究科 共生応用化学専攻 共生応用化学コース 特任教員公募について

このたび、千葉大学 大学院工学研究科 共生応用化学専攻 共生応用化学コースでは、下記の要領にしたがい特任教員を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 職名・人数 特任助教 (テニュアトラック制による任期5年) 1 名

本公募は「国立大学法人千葉大学テニュアトラック制」に準じて行われます。任期満了時までにはテニュア付与にかかる審査が行われ、可とされた教員は定年制適用教員となります。(http://www.chiba-u.ac.jp/tenure/index.html 参照)

2. 公募分野 広い意味での分析化学および物理化学に関する研究分野。

3. 着任時期 平成28年度内のできるだけ早い時期

4. 担当授業科目 学部および大学院の授業科目と研究指導(補助)。特任助教任期中は、全学で運営する普遍教育科目(いわゆる一般教養科目)授業担当と学内の管理・運営に関する業務は免除します。

5. 応募資格 博士の学位を有する方又は着任時までに博士の学位を取得見込みの方で平成28年度末において34歳以下である方

※文部科学省国立大学改革強化推進補助金「特定支援型(優れた若手研究者の採用拡大支援)」事業のため雇用対策法施行規則第1条の3第1項例外事由3号二に該当(千葉大学は文部科学省「優れた若手研究者の採用拡大支援」事業に採択されました)

6. 給与 テニュアトラック期間中の給与は年俸制とし、本学規程に基づき決定します。

7. 応募書類 (1) 履歴書(名前, 顔写真(4 cm幅×5 cm高)貼付, 生年月日, 現住所, 連絡先の電話番号及び e-mail アドレス, 現職, 勤務先, 勤務先住所, 学歴(高等学校卒業以降), 学位, 職歴, 資格, その他特記事項など)

(2) 研究業績リスト [(a)-(f) をページを分けて記載のこと]

(a) 原著論文(査読の有無を明記のこと)

(b) 総説等

(c) 著書

(d) 科学研究費補助金等の競争的資金獲得状況

(e) 特許

(f) その他 (招待講演, 受賞歴等)

(3) 主要論文の別刷 (またはその写し) 5 編以内 (研究業績リストに○をつけること)

(4) 研究業績を問い合わせることのできる方 2 名の氏名および連絡先 (電話番号とe-mailアドレス)

(5) 研究実績の要約と千葉大学着任後の研究計画 (2枚程度)

(6) これまでの教育経験と千葉大学着任後の教育に対する抱負等 (1枚程度)

(7) 外国人においては日本語検定試験成績の証明書のコピー (必須ではない)

(1)~(7)全てA4用紙を使用のこと。また, 電子媒体(WordファイルまたはPDFファイル)をCD-ROMやUSB等で提出すること。なお, 作成したOSとソフト名を明記すること。

8. 応募の締切 2016年 11月22日 (火曜日) 必着

9. 応募書類の送付先 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院工学研究科共生応用化学専攻 共生応用化学コース コース長 坂本昌巳

封筒の表には「共生応用化学コース助教公募書類在中」と朱書して, 上記宛てに簡易書留でお送り下さい。

応募に関する問い合わせ先 共生応用化学コース 教授 藤浪真紀

E-mail: [fujinami@faculty.chiba-u.jp](mailto:fujinami@faculty.chiba-u.jp) 電話:043-290-3503

([http://www.chiba-u.ac.jp/general/recruit/recruit\\_staff/teacher.html](http://www.chiba-u.ac.jp/general/recruit/recruit_staff/teacher.html))

10.その他 応募書類 (含む電子媒体) は本審査以外の目的には使用せず, 原則として返却しません。また, 審査過程で面接を実施する場合があります(旅費等自己負担)。なお, 教育研究業績が同等であれば女性, 外国人, 他機関勤務経験者を積極的に採用します。